

札幌市 官民連携指針

Sapporo City Public-Private Partnerships Guidelines



SAPPORO
CO-CREATION
GATE

官＋民で共に目指す。

民間事業者と札幌市役所が、
互いのコミュニケーション（対話）を通じ、
それぞれが持つアイデアや知見・技術、ネットワーク等の資源を持ち寄りながら、
地域・行政課題の解決や地域の発展に資する新たな価値を生み出すこと



札幌市民の生活の質の向上に資する課題解決へ



Vision 1

官民双方が相互理解を深め、同じ目標・課題を共有し、持続可能なまちの好循環が生まれている

Vision 2

他自治体等との連携を通じ、新たな官民連携の機会が創出されている

Vision 3

国内外の人々や企業を惹き付ける新たな価値が創出されている

官民連携窓口の設置



窓口機能

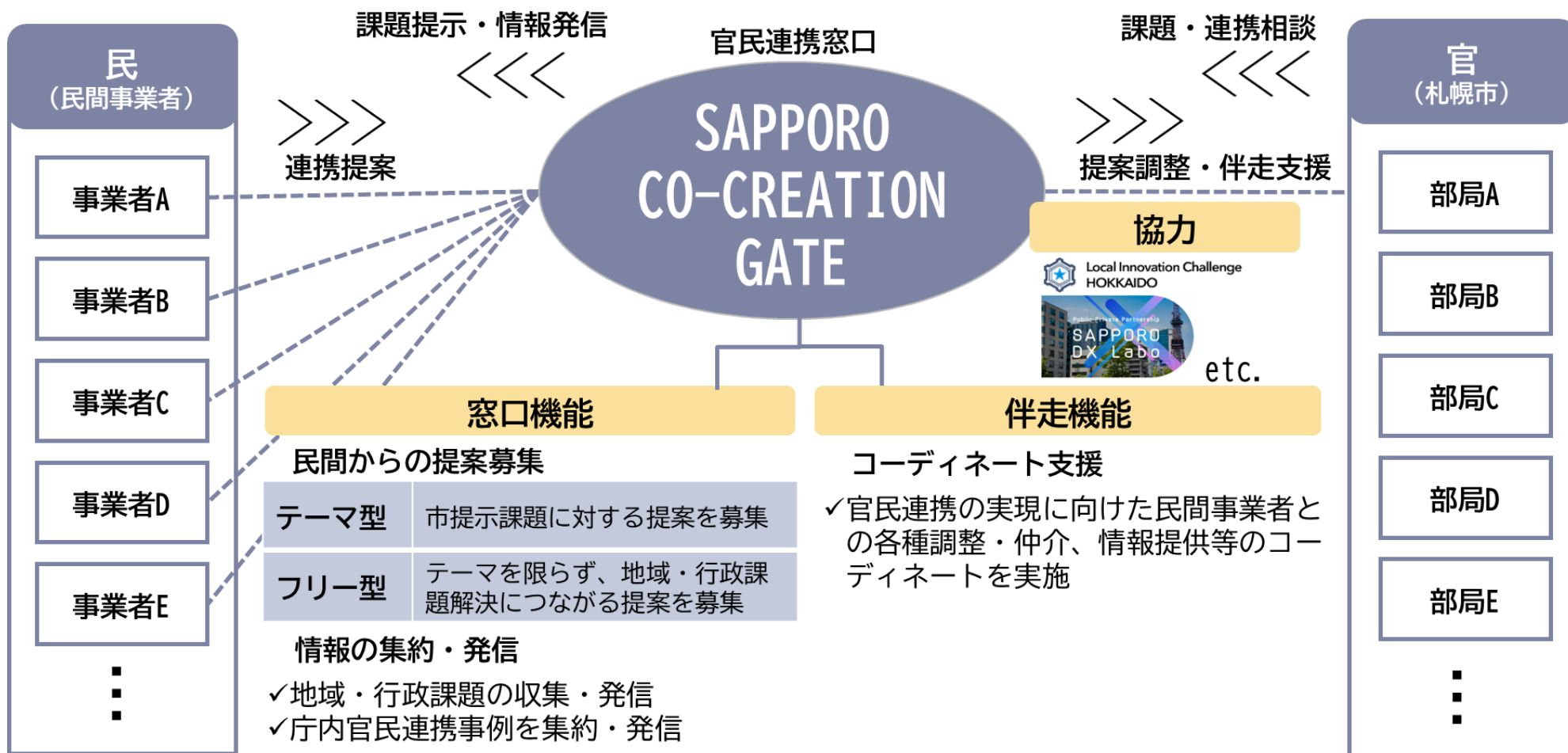
- 民間からの官民連携提案の一元窓口
- 課題や官民連携事例の集約/発信

伴走機能

- 庁内調整や情報提供等のコーディネート支援
- 官民連携プロジェクトに必要な財政支援



官民連携窓口の設置



※提案内容に関する市の部署が明確な場合等は、これまでどおり各部署にて対応

官民交流機会の創出



対話機会の創出

- 民間と札幌市のコミュニケーションを重視した対話の機会を積極的に創出

様々な立場・分野の巻き込み

- 様々な立場・分野の人々が垣根を越えて、交流し、新たな価値の創造に資する場の創出についても検討

ポータルサイトの開設



提案受付

- 民間からの官民連携の提案や相談をポータルサイトで 24 時間受付

情報発信

- 官民連携イベントや札幌市が認識している地域・行政課題の発信
- 官民連携の取組状況成果の発信

01

事業構想

地域・行政課題の
整理・公表民間事業者からの
提案受付Point随時受付

02

事業化検討

提案内容の
検討・対話事業実施適否の
判断Point対話で実現可能な
連携を模索

03

事業推進

事業実施主体の
選定

事業の実施

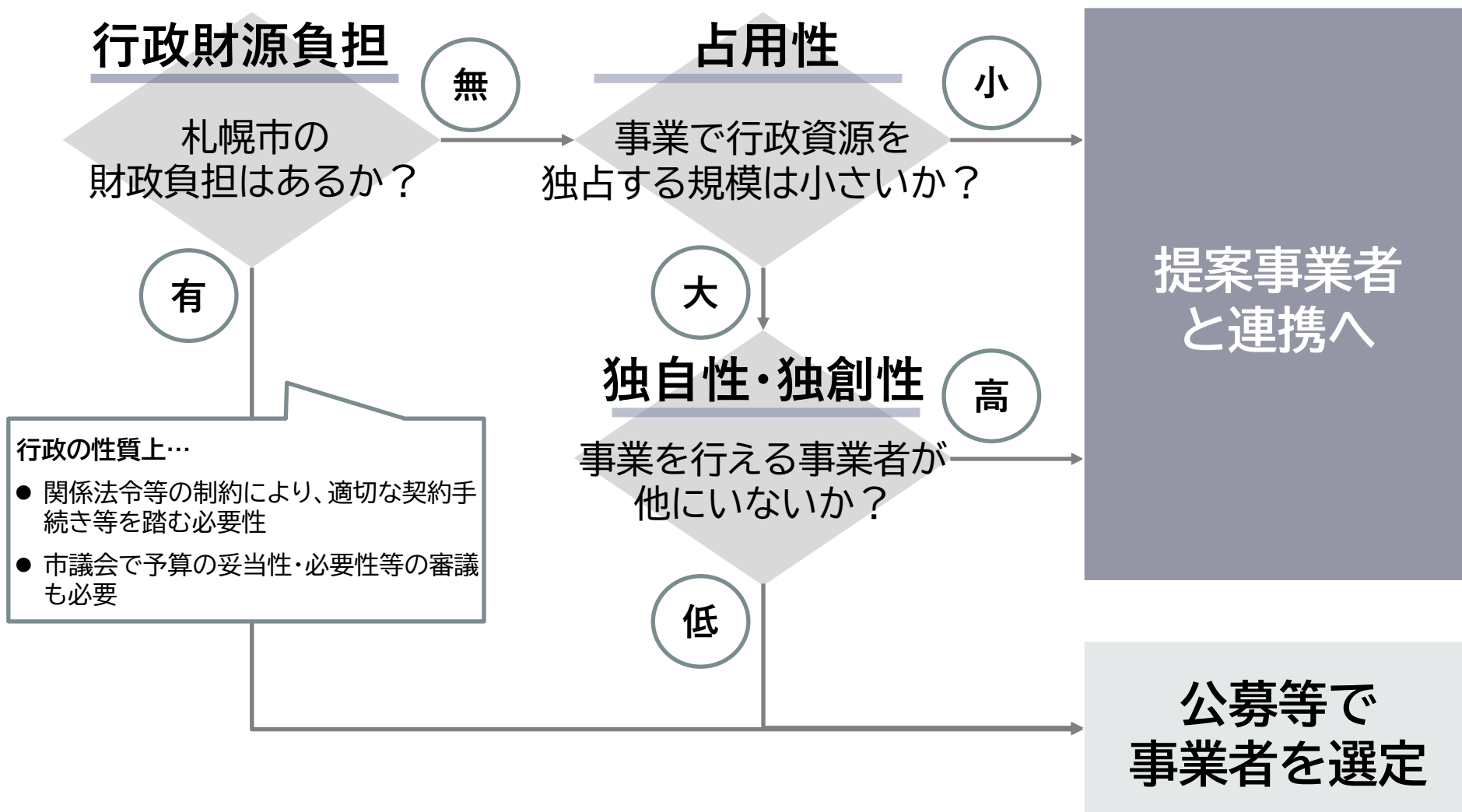
Point提案＝実施事業者の
可能性

04

事業検証

事業の検証

事業継続に
向けた検討Point効果的な事業は
持続的な取組へ



民間事業者と連携事業の内容に関する留意事項

1

民間事業者に求める留意事項

- 民間事業者として事業継続性が確保されることや法令・公序良俗に反していないこと、事業内容が法令・公序良俗に反していないこと、政治、宗教等の思想・立場から中立的であることなどに留意してください。

2

連携事業の内容にかかわる留意事項

- 行政が求める公平性・公共性の観点を踏まえ、健全かつ適正な取組であることに留意してください。
- また、官民連携を通じ、札幌市と民間事業者の双方にとって適切なメリットが期待できることも必要です。

本指針の見直しに関する補足事項

市政を取り巻く状況は日々変化しています。

今後、市民のニーズの変遷等により、官民連携に係る考え方や必要な取組等も変化していく可能性があります。

そうした状況変化に適切に対応しながら、本指針についても適宜必要な見直しを行います。